

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 31年 2月 21日

公表:平成 31 年 3 月 1日

事業所名 放課後デイサービスまごころライト

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			適切なスペースで活動している
	2	職員の配置数は適切である	6	1		基本職員と児童の数が1:2で活動しているので維持していきたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1	階段がある	一部(階段など)がバリアフリーがされていないので改善すべきでは
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2		職員間で周知されていないので、分かりやすく目標や取り組み方を統一していくべき
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			会議等でアンケートで頂いた意見を共有検討していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			以前よりホームページ上に公開されている
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		まだ第三者評価には至っていない予算の面も含めて検討が必要
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		主に外部研修だが、参加を促している。参加者には会議の場で発表を行い情報を共有する機会を設けている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		作成しているが職員間に全て伝わっていない。機会あるごと、また連絡帳に簡易だが主目標を掲げるようにした
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3		全員がアセスメントの視点を共有していない 大まかな要点などは周知すべきでは
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			常勤での会議で行っているが全体会議でも 意見を取り入れたほうが良いのでは
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		定番活動と季節感を取り入れるように工夫しているが多様な意見を聞いていくべきでは
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		活動時間が変わるので、過し方に違いは出るが、大きくは変わっていない
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		個別活動、集団活動を組み合わせているのかあいまいな設定もあるように思う。支援する職員にも分かりやすくするべきでは
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		送迎時間等でバラツキがあるが打ち合わせは行っている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		送迎終了の時間等で変わってくる。個人の経過表の記入・閲覧で様子が分かるようにしていく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			連絡帳や日誌、また個々の経過表などで毎回記録をとり、支援の向上に努めていく
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1		半年ごとのモニタリング、また必要があれば適宜見直しの必要を検討していく	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	2		ガイドラインに基づいた支援を行っていることがあまり周知されていないところもあるので全体会議で概要を配布、周知に努める	
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			基本的に管理者が出席している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1		情報共有においては多少に関わらず密な連絡を取っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		7		現在は該当する児童がいないので、ケースに応じて連携体制を取りたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	5		中高生が対象のため機会は少ない。必要があれば行いたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1		卒業時にはほぼ全員が移行支援会議等において各事業所との情報共有に積極的です

日との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		研修には可能な限り参加するようにしています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4	ふれあい祭りなど	普段のデイで関わる機会は少ない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	5		現在機会は少ないのではないかと
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1		検時間は限られますが送迎の折には、お伝えしている。また伺ったことなども事柄によっては事業所内で検討している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3		事業所主体では行っていないが、親の会などの会場やまたその中での研修には参加している
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	3		契約時に保護者の方にお伝えしています。詳細な内容は職員全員が知っているとはいえないので。大まかな構造、支援内容に関して知っておく必要がある
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2		普段からのお話でうかがう機会があるが、必要であれば改めて面談などスムーズに行えるとよいのではないかと
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4		親の会の集まりにご利用いただいているが全ての職員には周知されていなかった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		多少に関わらず、管理者や施設長、代表に伝えられ、対応する体制がある。緊急時の連絡なども改めて確認した。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			法人での会報、またデイだよりには一月の活動内容を掲載、毎月発行しています
	35	個人情報に十分注意している	7			個人情報に関しては契約時に説明同意を頂いている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			デイでの中での工夫などをお伝えする
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	1		プール開きなど案内しているが参加はほとんどないのが現状
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	4		防犯や感染症には法人として策定されていないので今後策定すべき
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			毎月一度合同避難訓練を行っている。児童の動き方など、毎月行うことで職員も把握しやすいと思う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2		外部研修には参加しているが全員参加には至っていない。資料に基づいて勉強会等を行うべきでは
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	3		契約時には身体拘束に関する事柄を必ずお伝えしています。計画には現在記載がないので、今後記載すべき
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2		医師からの指示を受けた保護者の方から伝えられている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			月ごとの会議でも報告と対策など検討し、過去のものでも報告書は随時閲覧できるように共有されている